

地方公共団体金融機構
理事長 瀧野 欣 彌 様

令和元年度の中間財務諸表に係る監査報告書

私たち監事は、地方公共団体金融機構法第18条第4項の規定に基づき、地方公共団体金融機構（以下「機構」という。）の平成31年4月1日から令和元年9月30日までの令和元年度の中間財務諸表（中間貸借対照表、中間損益計算書、中間純資産変動計算書及び中間キャッシュ・フロー計算書をいう。以下同じ。）について、監査を実施した。

その結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法及び内容

幹部会議その他重要な会議に出席するほか、業務運営等機構事業計画の実行状況全般について関係者から報告及び説明を受け、重要な決裁書類等を閲覧した。

また、決算担当部署から令和元年度の中間財務諸表について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、会計監査人とのコミュニケーションを重ねつつ、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

2 監査の結果

(1) 令和元年度の中間財務諸表は適正なものと認める。

(2) 会計監査人であるEY新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。

令和元年11月22日

地方公共団体金融機構

監 事 大 内 秀 彦 印

監 事 大 森 正 明 印